

第3期(平成27年度)「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」 コンソーシアム教員の公募に関するQ&A

2015年4月28日版

Q1: コンソーシアム参加機関はどのようなものでしょうか？

A1: 2014年10月現在

代表機関: 広島大学、 共同実施機関: 山口大学、徳島大学、
連携機関: (国立大学) 岡山大学、島根大学、鳥取大学、愛媛大学、香川大学、高知大学、
鳴門教育大学、(公私立大学): 県立広島大学、広島市立大学、広島国際大学、立命館大
学、(公的研究機関): 産業技術総合研究所中国センター、産業技術総合研究所四国セン
ター、酒類総合研究所、(企業): マツダ、サタケ、JFE スチール、ジェーイーエル、日本ハム
中央研究所、EY アドバイザリー、で構成しています。

Q2: テニュアトラックはどのような形で行われるのでしょうか？

A2: 最初に採用された各機関において、テニュアトラック審査が行われます。テニュアトラ
ック審査の時期、方法、基準等については、一次審査合格者に対して別途通知いたしますが、
基本的には各大学のテニュアトラックのルールに則って行われます。

Q3: 「科学技術イノベーションへの貢献」とはどのようなものでしょうか？

A3: 「知の大競争時代」において地域・大学・各研究者が生き残り、人類の健康と福祉、社
会の安全と安寧、地球環境の持続性などへの貢献を果たしていくためには、特定の分野だ
けでなく人文学・社会科学など含めたすべての分野において、自らの分野に閉じこもるこ
となく社会と積極的に関与していく人材が求められています。また、科学技術イノベーション
は、英語では science, technology and innovation であり、ここでのイノベーションには、サ
ービスイノベーション、ビジネスイノベーションなど、新しく生み出された知の様々な社会展
開の形が含まれるものと解釈してください。具体的な貢献には、コンソーシアム教員となっ
た後の、企業・異分野研究者などとの共同研究なども含まれます。大きな枠組みとしては
政府の科学技術イノベーション総合戦略 2014 などをご覧ください

(<http://www8.cao.go.jp/cstp/sogosenryaku/2014/honbun2014.pdf>)。

Q4: 書面(紙媒体)で応募しても良いですか？

A4: いいえ、紙媒体の書類は受け付けません。本公募要領に記載の電子メールアドレスに
送付してください。

Q5: 講義の負担はどの程度ですか？

A4: 各機関・部局によって異なります。しかし、研究エフォートが60%以上を求められていることにご留意ください。

Q5: 博士号取得見込のものは応募できますか？

A4: 着任時まで博士号を取得できるのであれば、応募できます。

広島大学限定:

Q1: 着任前の前任大学で研究指導を行っていた大学院生をコンソーシアム教員として赴任後も研究指導できますか？

A1: 前任大学と所属大学の間で大学間協定を結ぶことで、大学院生の学籍を移動しなくても研究指導が可能になります。

Q2: 退職金はありますか？

A2: 年俸制によるコンソーシアム教員の給与には既に退職金相当額が含まれていますので、別途に退職金が支払われることはありません。

Q3: 学内に保育所はありますか？

A3: 広島大学内外に保育所があります。大学スタッフも入園の支援をいたします。

Q4: 出産・育児等による休職は認められるのでしょうか？

A4: 広島大学の「育児・介護休業等に関する規程」により認められます。テニユア・トラック期間については、検討中です。

他に何か質問がございましたら、下記にお問合せ下さい。

Contact E-mail address: consortium-koubo@office.hiroshima-u.ac.jp